

令和 8 年 2 月 6 日
第十一期第 1 回中野区地域包括支援センター運営協議会

中野区地域包括支援センター事業運営評価において、改善事項（一層の取り組みが望まれる事項）に対して地域包括支援センターが提出した改善計画は、次のとおりである。

江古田地域包括支援センター

鷺宮地域包括支援センター

中野区地域支えあい推進部
地域包括ケア推進課
医療・介護連携推進担当課長
高橋 かほる 様

中野区江古田地域包括支援センター
受託法人 社会福祉法人慈生会
理事長 田代 嘉子

令和 7 年度運営評価において
改善事項に対する改善計画について

表題の件、令和 7 年 12 月 12 日付「令和 7 年度中野区地域包括支援センター事業運営評価の実施結果について（通知）」にて示されました、江古田地域包括支援センターに対する改善事項に対する改善計画を、下記の通り作成いたしましたので、ご報告させていただきます。

記

◆改善事項

総合相談に関する記録が一覧化されておらず管理が十分とは言えない状況であるため
記録の整理方法および管理手法について検討すること。

◆改善計画

総合相談に対する支援については、ミーティング時に支援継続または終了の検討を行い、
その内容を一覧表により一元的に管理を行います。

以上

令和 8 年 1 月 22 日

中野区長殿

株式会社スギ薬局
代表取締役副社長 杉浦 伸哉

中野区鷺宮地域包括支援センター改善報告書

令和 7 年 12 月 12 日に通知された「令和 7 年度中野区地域包括支援センター運営評価結果」により指摘を受けた事項について下記の通り改善計画を作成いたしましたので、報告いたします

	指摘事項	改善状況	改善の時期
1	地域の高齢者に関する困難事例等への対応については、チームアプローチによって適切な支援となるよう、必要に応じてアウトリーチチームや民生委員など支援関係者と連携し、一体的に対処すること。	支援拒否の方など困難事例等への対応については、民生委員や医療関係者、区担当者など、多様な関係者及び関係機関らとの連携を図り、必要に応じてアウトリーチチームや法務支援、認知症初期集中支援会議等で相談するなど、一体的に対処していく。	令和 8 年 1 月 1 日
2	包括職員の定着率が低い状況が見受けられるため、相談への対応が遅れたり、対応の質にばらつきが生じたりするなど影響があることから、法人は包括職員を適切にフォローできる体制を整備するなど、定着率の向上に向けた対策を講じること。	包括職員の定着支援および相談対応の安定化に向け、法人として本部が継続的に関与しながら職員フォロー体制の整備に取り組んでいる。管理者を中心としたセンター内の支援体制を基本としつつ、本部においても状況の共有を行い、対応困難事例等については助言・支援を行っている。 また、本部と連携のもと、定期的なミーティングやケース検討の場を活用し、対応方針や留意点を職員間で共有することで、業務の属人化防止および相談対応の平準化を図っている。これにより、職員が判断に迷った際にも相談・確認しやすい環境を整え、安心して業務に取り組める体制づくりを進めている。 今後も本部と現場が連携し、包括支援業務を安定的に提供できる体制の維持・充実に努めていく。	令和 8 年 1 月 1 日

以上